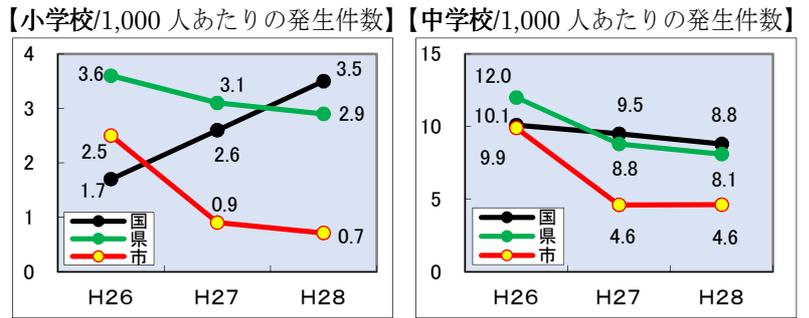


平成28年度東広島市立の小中学校における生徒指導上の諸課題について

1 「暴力行為」の発生件数について

- 平成28年度東広島市立の小中学校における児童生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、国、県の数値をいずれも下回っている。
- 小中学校における暴力行為の発生件数は平成26年度以降、やや減少している。

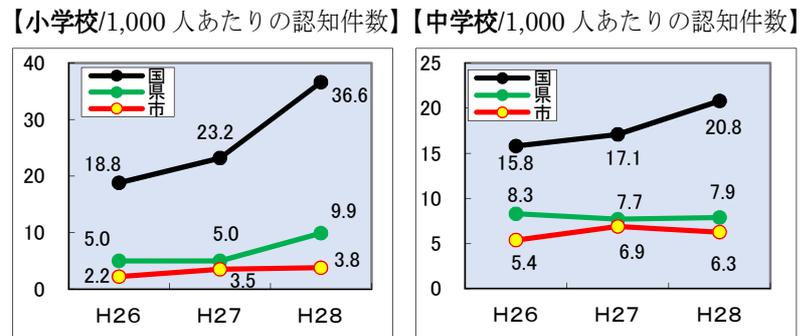


【本市暴力行為発生件数】

	H26	H27	H28	(参考H29.10末)
小学校	27件	10件	8件	27件
中学校	48件	22件	22件	10件

2 「いじめ」の認知件数について

- 平成28年度東広島市立の小中学校における児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、国、県の数値をいずれも下回っている。
- 本市小学校におけるいじめの認知件数については、いじめを積極的に認知及び早期発見に努めたことから、国、県の数値と同様2年連続で増加している。
- 平成28年度の小学校の認知件数は42件で、平成25年度のピーク時(39件)を3件上回っている。

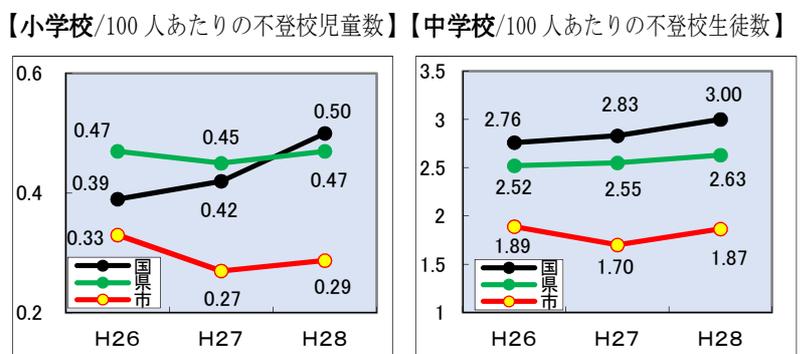


【本市いじめ認知件数】

	H26	H27	H28	(参考H29.10末)
小学校	24件	38件	42件	47件
中学校	26件	33件	30件	14件

3 「不登校」の児童生徒数について

- 平成28年度東広島市立の小中学校における児童生徒100人あたりの不登校児童生徒数は、国、県の数値をいずれも下回っている。
- 不登校児童生徒数は、前年度と比較すると、国、県の傾向と同様にやや増加している。



【本市不登校児童生徒数】

	H26	H27	H28	(参考H29.10末)
小学校	36人	30人	32人	27人
中学校	91人	81人	89人	64人